

## 令和5年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生活動支援事業活動報告書

団体等名	松本をもっとよくしようプロジェクト	
代表学生	所属大学名・学部・学年	信州大学教育学部 2 年生
	ふりがな 氏名	せき たくと 関 拓人
教職員責任者	所属大学名・職名・ ふりがな 氏名	信州大学教職支援センター准教授 <small>あらいえいじろう</small> 荒井英治郎

活動名	松本の魅力向上に向けた学割カエルパ事業の発展及び新企画の実行	
実施時期	2023 年 6 月～2024 年 3 月	
実施場所	信州大学 松本市役所	
活動内容	<p>【団体概要】</p> <p>「松本をもっとよくしようプロジェクト」は、2019 年 7 月に発足した信州大学生と松本市による協働プロジェクトである。</p> <p>信州大学は県外出身者が約 8 割であり、学生は地域との関わりをなかなか持てずにいるという課題を抱えていた。一方、教育機関が多数（約 21,000 人）ある松本市は若者に魅力あふれるまちづくりを目指し、学ぶ人を応援するための環境づくりを検討していた。そこで、信州大学生と松本市は若者目線で魅力あふれるまちづくりを協働しながら推進していくために「松本をもっとよくしようプロジェクト」を発足させた。</p> <p>【活動内容報告】</p> <p>1   学割カエルパ普及促進</p>  <p>学割カエルパ普及促進活動は特に新入生が多く松本で新生活を始める 4 月・5 月を目安に集中的に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サンプロ アルウィン（長野県松本平広域公園総合球技場）</li> <li>・ イオンモール松本（シールでのカエルパ調査）</li> </ul> <p>などを行った。</p> <p>アルウィンでは松本山雅の試合にきていた高校生～大学生のサポーターを中心にカエルパの告知と、松本駅から信州大学にかけて加盟するカエルパ協賛店がかかれた「食べ歩きガイドマップ」の配布をおこなった。</p> <p>イオンモール松本では、メンバーが直接高校生～大学生に広報するのではなく、「カエルパの知名度」や「学生証の携帯度合い」、「市内飲食店の利用状況」などを大きなボードに示し、シールを貼ってもらう形式で調査活動を行った。1000 枚ほどのシールによる投票が行われ、カエルパの認知度の課題や割引される手順の再考を示唆する結果を導くことができた。</p> <p>2   松本市内散策イベント「まつぶら」</p> <p>松本をもっとよく知るならば、もっと松本を“ぶらぶら”してお散歩してみようということで始まったイベント。松本の町が大好きな大学 2 年生以上が、何かテーマをもって参</p>	

	<p>加者を楽しい松本さんぽの世界に引き込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月20日案内人：工学部の2年生 テーマ：松本の建物</li> <li>・6月29日案内人：人文学部4年生 テーマ：松本城の裏？裏町探索</li> <li>・10月29日案内人：医学部3年生 テーマ：浅間温泉×留学生</li> </ul> <p>特に浅間温泉でのまつぶらは浅間温泉をフィールドに活性化にむけて活動するアサマデを共同企画として行い、ただ町をぶらぶらするだけでなく、地元薬局の2階の大広間を借り、留学生と学生の交流をはかったり、茶道部に協力を依頼し茶道体験などを実施したりすることができた。</p>  <div style="text-align: center;">  <p>お散歩企画 「まつぶら」</p> </div>
<p>活動の成果と今後の課題</p>	<p>①カエルパ普及促進          新入生向けのカエルパのアプローチはできていたように感じる。実際にカエルパを認知する学生も増えてきている。しかしそれを数値的に示したり、デジタルマップ化を行うことができなかったりと課題も残る。来年度は他団体であるシンダイガイドや新プロジェクトなどと協働しながら、すでにあるカエルパというブランドをより発展させ、学生に親しみをもってつかってもらい、松本の良さにさりげなく気づけるようなものにしていきたい。</p> <p>②まつぶら          松本をもっとよくしようプロジェクト主催になっているが、あくまでも案内人ファーストで人によって違う視点に気づけるような機会を創造することができた。まさに名前だけ貸している状態であるが、しっかりメンバーもコミットし、メンバー以外にも持つ「やってみたい」という気持ちを最大限発揮できるような体制を創ることができた。これからはより募集を早めたり、広報を強化するなどし、カエルパと抱き合わせで松本ぐらしをより充実させていくことが必要である。</p> <p>③新企画          新企画については今年度中に具現化できなかったことが大きな反省である。浅間温泉での新企画については浅間温泉観光協会や松本市、組合などにヒアリング調査を行っている状態である、今後は学生側のニーズを確かめつつ、誰かしらに一方的に非利益が傾かないような形で、浅間温泉と信大生や若者の距離を詰めていけるようなものを作っていくことが課題である。</p> <p>また榊形広場でのイベント企画は、グループ内で意見をまとめ切ることができず、実行することができなかった。しかし来年度はより本格的な議論や検討を重ね、「学都」松本として、市内で若者がわくわくできるような場が必要である。一回単発ではなく、榊形広場から始まって年々規模を大きくし、若者文化発信イベントとしての中長期計画を立てていくことが大きな課題である。</p>

※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4判4枚以内にまとめてください。活動内容だけでなく、活動団体のPRを行うことができる動画を添付することも可能です。

※提出された活動報告書一式は、各関係機関等に公表するとともに、高等教育コンソーシアム信州のHPへの掲載を予定しています。他人が写った写真等を許可なく使用しないなど、著作権や肖像権に配慮してくださ

い。

※申請内容から変更があった場合は、経緯を記入してください。

※本様式のほか、活動内容や成果についての報告動画を併せて作成して提出してください。